

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	九州日野自動車株式会社 新本社・サービスセンター	階数	地上2F
建設地	福岡県福岡市東区みなと香椎3丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	155 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年2月14日
敷地面積	16,958 m ²	作成者	沖野琴音
建築面積	7,664 m ²	確認日	2020年2月20日
延床面積	6,947 m ²	確認者	沖野琴音



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 87% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 庇・フラインドを組み合わせることでグレアを制御する対策をした。 また建築物のほぼ全体にF☆☆☆☆の建材を採用している		その他
Q1 室内環境 庇・フラインドを組み合わせることでグレアを制御する対策をした。 また建築物のほぼ全体にF☆☆☆☆の建材を採用している	Q2 サービス性能 2.7m以上の天井高を確保すると共にリフレッシュスペースを確保することで内部の快適性の向上に努めた。 また3.8m以上の階高を確保すると共に壁長さ比率を小さく	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑地の確保に努め良好な景観を心かけた。 また外壁の大部分については高彩度色の使用を避け周囲の街並みに合わせるよう努めた。
LR1 エネルギー 建物の断熱性に配慮し建物のエネルギー低減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 省水型便器の採用をし資源の確保に配慮した。 また躯体と仕上げ材が容易に分別可能となるよう計画した。	LR3 敷地外環境 敷地内に適切な駐車スペース・駐輪スペースを確保し交通負荷の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される